

# 活動レポート

## すえ 陶の道を発展させる会

野外に出掛けるのが気持ち良い季節となりました。今回は、地元の歴史に関係のあるウォーキングコースを作り、まちづくりを行っている「陶の道を発展させる会」(代表 中村秀昭さん)を紹介します!

会を始めたきっかけは?

小学校のころ、朝礼で列をはみ出していたら先生に「こら、中村!ちゃんと並ばんと陶晴賢になるぞ!」と怒鳴られたのがそもそもの始まりです。

それ以来「陶晴賢とはどんな人物だろう?」と気になっていましたが、20代で福川青年団に入り、まちづくりのための様々な活動をしているうち、福川には陶氏が築いた若山城跡があることを知り、陶氏やその一族に関係のある大内氏、毛利氏の歴史を活用したまちづくりをしていこう!と思いました。

どんなことをして

まずは、うさぎ道しかなかった若山城跡への登山道を拡幅し、のほり旗や道標をつけました。その道の整備を終えてから、福川駅をスタートして若山城跡を登り、陶氏館跡や陶氏ゆかりの建咲院などを回る、「陶の道・若山城登城のみち」を歩くコースを作りました。

若山城築城540年記念祭  
活動展の様子



毎年5月3日には、この道を、陶・大内・毛利氏に関する歴史ガイド付きで歩くイベントを開催しています。

今年は、若山城築城540年を記念して、3月に登山道入り口で石碑建立除幕式を行ったり、記念祭を開催しました。

また、4年前から小・中学校のふるさと学習の時間に陶・大内・毛利の3氏の歴史を紹介しています。児童に自分たちの地域の歴史を知ってもらうとともに、いじめや環境問題についても歴史と内容をからめて話し、歴史から教訓を学ぶ大切さも伝えています。

若い頃からの活動を含めると、活動期間が42年にもなりますが、長く続ける秘訣は?

まず、行動することです。動いて、いろんな人と会うことで、いろんな情報を教えてもらったり、新しい繋がりができ、そこからまた次の活動のアイデアが浮かんで来たりします。また、アンテナを張り、新聞やテレビなどから世間の情報・状態を受信する力も必要です。

陶の道・若山城登城のみち  
ウォホクの様子。JR福川  
駅を朝9時に出発します。



ふるさと学習などで上演される、  
ジャンボ紙芝居「甞れ若山城」  
防長の3武將物語

みなさんにメッセージを!

この5月3日に「陶の道・若山城登城のみちウォーク」を開催します。「美しい日本の歩きたくなる道・500選」に認証された道を歩いてみませんか?

(詳しくは「情報ひろば」1ページ目をご覧ください。)

問合せ先

陶の道を発展させる会(中村)

/Fax 0834-63-1983